【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公表番号】特表2011-504621(P2011-504621A)
【公表日】平成23年2月10日(2011.2.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-006
【出願番号】特願2010-532317(P2010-532317)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　9/06　　６３０Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月25日(2011.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アプリケーションの振る舞いの外部の実行時間の適応を可能にするシステムであって、
アプリケーションサーバ上にあるアプリケーションと対話するよう構成された少なくとも１つの判定エンジンであって、前記判定エンジンは、前記アプリケーションの外部にあり、前記アプリケーションは、少なくとも１つのブレイクポイントを有し、前記アプリケーションを編集することなく修正されるように構成された少なくとも１つの判定エンジンと、
前記少なくとも１つのブレイクポイントについて前記少なくとも１つの判定エンジンの少なくとも１つの識別子を備えるブレイクポイント構成のリストを含むよう構成された少なくとも１つのストレージ要素とを備え、
前記判定エンジンは、前記アプリケーションが前記少なくとも１つのブレイクポイントでブレイクポイント構成の前記リストにアクセスすることを可能にし、前記アプリケーションが前記少なくとも１つのブレイクポイントについて前記少なくとも１つの判定エンジンを呼び出すことを可能にするように構成され、前記判定エンジンは、前記少なくとも１つの判定エンジン上の少なくとも一部に基づいてアプリケーション振る舞いを適応するように構成されることを特徴とするシステム。
【請求項２】
前記ストレージ要素は、前記アプリケーションの外部でブレイクポイント構成の前記リストを維持するように構成されることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
ブレイクポイント構成の前記リストは、前記少なくとも１つの識別子についての属性マッピング及び前記少なくとも１つの識別子についての動作タイプをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
ブレイクポイント構成の前記リストは、前記リストにおける前記少なくとも１つの判定エンジンに関連するシーケンス番号をさらに備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
ブレイクポイント構成の前記リストは、少なくとも１つのブレイクポイントを前記対応

する少なくとも１つの判定エンジンに動的にマッピングするよう構成されることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
アプリケーションサーバ上にあるアプリケーションをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項７】
ブレイクポイント構成の前記リストは、前記リスト内の前記少なくとも１つの判定エンジンに関連するシーケンス番号をさらに備え、
前記アプリケーションは、２以上の判定エンジンが等しいブレイクポイント及び前記シーケンス番号について存在する前記２以上の判定エンジンに応答して、前記２以上の判定エンジンを平行に呼び出すよう構成されることを特徴とする請求項６に記載のシステム。
【請求項８】
通信システムにおいてアプリケーションの振る舞いの外部の実行時間の適応を可能にする方法であって、
アプリケーション内の個々のブレイクポイントでブレイクポイント構成のリストにアクセスするステップであって、前記リストは、前記個々のブレイクポイントについて前記アプリケーションの外部にある少なくとも１つの判定エンジンについて少なくとも１つの識別子を有し、前記少なくとも１つの判定エンジンは、前記アプリケーションを編集することなく修正されるよう構成されている、ステップと、
前記個々のブレイクポイントに対応する前記少なくとも１つの判定エンジンを呼び出すステップと、
前記少なくとも１つの判定エンジンに基づいて前記アプリケーション振る舞いを適用するステップと
を備えたことを特徴とする方法。
【請求項９】
前記リストにアクセスするステップは、前記アプリケーションの外部の前記リストにアクセスするステップを備えたことを特徴とする請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記リストにアクセスするステップは、前記少なくとも１つの識別子についての属性マッピング及び前記少なくとも１つの識別子についての動作タイプにアクセスするステップを備えたことを特徴とする請求項８に記載の方法。
【請求項１１】
前記リストにアクセスするステップは、前記リスト内の前記少なくとも１つのブレイクポイントに対応する前記少なくとも１つの判定エンジンに関連するシーケンス番号にアクセスするステップを備えたことを特徴とする請求項８に記載の方法。
【請求項１２】
ブレイクポイントについて存在する２以上の判定エンジン及び前記２以上の判定エンジンが等しいシーケンス番号に応答して、２以上の判定エンジンを平行に呼び出すステップをさらに備えたことを特徴とする請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
個々のブレイクポイントを少なくとも１つの対応する判定エンジンに動的にマッピングするステップをさらに備えたことを特徴とする請求項８に記載の方法。
【請求項１４】
コンピューティングデバイスによる実行に応答して、前記コンピューティングデバイスに請求項８乃至１３の任意に記載の方法を実施することを引き起こす、前記コンピューティングデバイスに格納された指示を有するコンピュータ読取可能媒体を含む製造物。